

## 【優秀賞】

### 【命の水】

設楽町立津具中学校 三年 村松 音波

今、私は学校に行くことができません。二年生の三月から臨時休校になりました。四月になり、三年生として気合いも十分でしたが、まだ学校は始まりません。私は早く学校で友達や先生と授業や部活動などをし、当たり前だった毎日を取り戻したいと願っています。

学校へ行けない理由は、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐためです。世界中にもすごい勢いで感染が広がり、たくさんの方が亡くなり、今まで想像もしたことのない危機的な事態に陥っています。私たちにできることは、感染予防のために外出を控え、手洗いやうがいなどを徹底するしかありません。手洗いやうがいをするためには、水が欠かせません。今や、水が命を守ってくれている、まさに命の水と言っても過言ではありません。

普段から外出後には手洗いとうがいを習慣として行っていました。今はそれがどれだけ大切なのかを実感しています。自分の身を守ることはもちろん、大切な家族や周りの人、世界中の全ての人が健康で笑顔でいてほしいと思います。私の家では、「お父さん、ちゃんと手洗いとうがいね。」

などと声をかけ合っています。その度、当たり前のように蛇口から出る水が、もし出なくなってしまうらと思うと怖くもなります。

私の住む町は森林に囲まれ、空気は澄み渡り、川には清らかな水が流れ、おいしいお米や野菜が育ちます。ゴールデンウィークには私の家は決まって田植えをします。田植えの頃、田んぼに水が入り、太陽に照らされてきらきらと輝く水面に山々が映り、夜には満天の星が田んぼで輝く、私はそんな風景が大好きです。秋には黄金色の稲穂が風にさやさとそよぎ、おいしいお米がとれます。豊かな緑の山と清らかな水が私たちに恵みを与え続けてくれます。

そして、その清らかな水は山から海へと流れていきます。川が命の水

を運びます。私の住む町は上流にあります。下流へ清らかな命の水を送るために、上流に住む者としての責任を果たしていくことが大切だと思います。

私の通う中学校では、毎年河川清掃を親子活動として実施しています。同じ日に地域の人も環境美化活動をします。私も実際に川に入り、ごみを拾いました。きれいな川だと思っても、大量のごみが落ちていて驚きました。たくさんのお魚や水生生物の生息する川を美しく保つためにも、私たち一人一人がモラルを守ることが大切だと考えます。また、生活排水で川を汚さないために下水道の整備をしてくれた方々にも感謝をしたいと思います。

これからも清潔で安全な住みよい環境づくりに努め、きれいな水を守り続け、命の水として、下流へ届けることが、私たち上流に住む者の果たすべき責任だと思います。

私たちの生活でどれだけの水が使われているかと考えると、朝起きて夜寝るまでの間、当たり前のようにたくさんのお水を使って生活していることに気づかされます。水がなければ生きていくことはできません。

私たちは水のある生活を当たり前だと思つてはいけません。空梅雨や真夏になると水不足になり、節水になります。節水は生活に直接かわるだけでなく、森林や川を守り、環境を守るためにも大切な行動です。そうした時期だけでなく、日常生活で節水に努めることは、誰にもできることです。

命の水は限りある大切な資源です。一人一人が水の尊さを意識し、水がありがたく使うことが重要です。私はこれからも川の美化や節水に努め、水の大切さを呼びかけ、水のために自分にできることを実行していきます。

新型コロナウイルスは、命や幸せな日々を奪う恐ろしいものです。そ

して、最も効果的な感染予防対策は命の水による手洗いです。

「みんな、しっかり手を洗おうね。」

今日も父をはじめ家族全員の声が響きます。